

和泉市立総合医療センター増改築事業について

1. 目的・必要性

和泉市立総合医療センターは、許可病床数が307病床、診療科目が21診療科、1日の平均外来患者数が600人前後の想定で設計・施工し、平成30年4月に新病院として開院しました。

開院当初は、常勤医師数が83人、診療科目が33診療科、1日の平均外来患者数が850人で、令和5年4月には、常勤医師数が131人、診療科目が35診療科、1日の平均外来患者数が1,058人となり、1日の平均外来患者数も約1.8倍に増加する状況となっています。

このような中、想定していた以上の患者数に加え、「コロナ禍における患者間でのソーシャルディスタンスによる待ち合いスペースの不足」、「患者・医師増加に伴う診察室の不足」、「透析患者の増加に伴う透析用ベッドの不足」、「人間ドックや特定健診増加による健診センターのスペース不足」、「がんセンターの診察室・化学療法用ベッドの不足」、また「救急医療体制の充実を図るためHCUの設置」が課題となっております。

限界がきており、今後、十分な医療サービスを提供できない可能性があります。

以上のことから、診察室や待合スペースの確保、感染症対策、救急医療体制の強化並びに医療サービス向上のため、増改築を行うものです。**(許可病床数307床の変更はなし)**

(年度)

項目	H29 <旧病院>	H30	R1	R2	R3	R4
常勤医師数	54人	83人	97人	111人	120人	121人
1日平均入院患者数	230人	299人	309人	295人	309人	310人
病床稼働率	74.9%	97.3%	100.7%	96.2%	100.6%	101.1%
1日平均外来患者数	559人	850人	970人	936人	1,030人	1,058人
救急患者数	10,370人	14,820人	14,874人	10,208人	12,710人	13,852人
月平均救急患者数	864人	1,235人	1,240人	851人	1,059人	1,154人

2. 効果 (許可病床数307床の変更はなし)

- ・待合スペースの拡張**(感染症対策の強化)**
- ・診察室の増室**(46室 → 約70室)**
- ・救急医療の受入拡充**(HCU24床の新規設置、診察室 3 室 → 約5 室)**
- ・感染症対策に伴う病床等の受入体制強化**(感染症病棟を新設)**
- ・健診センター拡張による人間ドック、特定健診の受入拡充
- ・透析室拡張による透析用ベッドの増床**(12床 → 約30床)**
- ・がんセンター拡張による診察室の増室**(4室 → 約8室)**
- ・化学療法用ベッドの増床**(17床 → 約30床)**

3. 費用

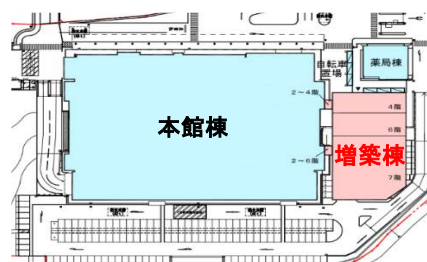
増改築事業費につきましては、指定管理者(医療法人徳洲会)が全額負担し、増改築を行います。増改築費用は約40億円です。

4. 増改築規模等の概要(案)

■増築棟

- ・現建物(本館棟)東側に増築棟を建築
- ・構造:鉄筋コンクリート造または鉄骨造(耐震構造予定)
- ・規模:地上7階建(本館棟は地上8階建)
- ・建築面積:約1,300㎡、延床面積:約7,000㎡

＜増築棟建築場所位置図＞



■本館棟

- ・増築棟との連携が必要なため2階～7階を渡り廊下で接続
- ・本館棟1階～3階の内部改修工事(救急診察室、透析室、歯科口腔外科等の拡張)
- ・改修規模:約1,300㎡(1階 150㎡、2階 370㎡、3階 780㎡)

■階層図

本館棟		増築棟	
8階	一般病棟		8階
7階	一般病棟	渡り廊下	研修医室・会議室・倉庫
6階	一般病棟(小児)	渡り廊下	健診センター(拡充)
5階	緩和ケア・腫瘍病棟	渡り廊下	災害(感染症)対策フロア(新規) ※平常時は宿直室
4階	手術室・ICU・病理・医局・総務課・看護部・材料	渡り廊下	HCU(新規)
3階	診察室・中央検査・人工透析・血液内科・リハビリ・歯科口腔・生理・耳鼻いんこう・がん相談支援センター・講堂・食堂カフェ・コンビニ	渡り廊下	がんセンター(拡充)
2階	診察室・小児・救急センター・放射線・内視鏡・採血・点滴・夜間薬局・地域連携センター・医事課・夜間受付	渡り廊下	診察室・がんゲノムセンター・難病センター・臨床・治験(拡充)
1階	駐車場・薬剤・サービスヤード・厨房・霊安・更衣室		駐車場・医療用倉庫

5. スケジュール予定

令和5年度～令和6年度	基本設計、実施設計
令和6年度～令和7年度	増築棟建築等
令和7年度中	増築棟開院
令和7年度～令和8年度	本館棟内部改修工事
令和8年度中	改修後の本館棟開院

6. 工事期間中の来院者用駐車場位置等(案)

